



明化の教育

1月号 (第463号)
平成31年1月8日
文京区立明化小学校
校長 溝畑 直樹

本年も明化小学校をどうぞよろしく願ひいたします

校長 溝畑 直樹



初春の陽光を受け平成31年が始まりました。いよいよ平成最後の年。皆さまにとって、本年が幸多き年となることを心から祈ります。昭和5年に建てられた明化の校舎も89年目を迎えました。今年中には校庭に仮設校舎を建てる工事が始まる予定です。明化の象徴でもある伝統と風格に満ちたこの校舎で過ごす一日一日を大切にしていきたいと思ひます。

今日から3学期がスタートしました。本年も教職員一同全力で子供たちの教育にあたってまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしく願ひいたします。

昨年末12月14日に実施した東京都教育委員会人権尊重教育推進校研究発表会には、300名近い参会者においでいただき、盛会の内に終えることができました。ご協力いただいた保護者、地域の皆さまに心から御礼申し上げます。

総合的な学習の時間で『自分らしく生きる』というテーマの学習に取り組んだ6年生。人権を「自分らしさ」と考えて、長い時間をかけ学習を進めてきました。この日は将来の自分にあてたメッセージを発表する学習をしています。下はHさんが50年後の自分に宛てたメッセージです。快く掲載を許可してくれた彼女に感謝しつつ、ここに紹介します。

50年後の自分へ

50年後のあなたは今の生活に満足していますか。今はもう、定年退職をしているころだと思います。12才のころの「自然が多い場所で自由に暮らす」という望みは叶っているのでしょうか。「本当に自分らしく生きていけたの?」と聞かれたら、50年後のあなたは果たして「うん、生きていけたよ」と答えることができるでしょうか。

就職したその仕事では挫折してしまったことは何回もあったと思ひます。そこであきらめようとしたこともあったのではないのでしょうか。誰もがみんな自分らしく生きようとしている。だから、自分で自分らしく生きようとしても、壁にぶち当たってしまうこともあるのかもしれない。

でもあなたはもう62才。少なくともここまで生きることができたのなら、自分らしく生きることができたのではないのでしょうか。私は、そんなあなたで良かったと思ひています。

—6年女子—

このメッセージが読み上げられた時、教室が温かい感動に包まれたようだったと担任が言いました。特に参観して下さった大人の方には心に届く言葉になったようです。「今を生きている。どんな生き様であろうと、このこと自体がすでに自分らしく生きていること。こうして生きてきた自分を誇りに思う。」こんなふうに考えてくれる子供がいること、それが人権をテーマに2年間取り組んできた本校の研究の大きな成果です。

■■校舎改築工事保護者向け説明会のお知らせ■■

1月12日(土)午前10時から 本校体育館にて 明化幼稚園保護者向け説明会と合同開催です。お寒い中ですが、どうぞご参会ください。